

別紙 修学上・生活上の困難とそれに対する配慮

該当する修学上・生活上の困難さ、および配慮項目(※最優先は◎)に○を付けてください。

【記入例】

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
対人場面		対人場面での強い不安や緊張		オンラインでの受講を許可
		吃音、場面緘黙	◎	発表形態の配慮 (個別で実施等)
	○	対人コミュニケーション		発言を求める際の配慮 (事前に指名を予告する等)
			○	グループワーク時の配慮 (人数調整やグループ間の距離を取る等)

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
出席関連		体調不良等による遅刻・欠席		欠席回の学習内容をレポート等の課題で代替
				授業内容の提供 (授業資料、重要情報の送付等)
				オンラインでの受講を許可
				発表・試験・実験の実施日程の調整
				課題の提出期限を延長
				座席の確保
				授業中の支援機器の使用を許可

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
対人場面		対人場面での強い不安や緊張		オンラインでの受講を許可
		吃音、場面緘黙		発表形態の配慮 (個別で実施等)
		対人コミュニケーション		発言を求める際の配慮 (事前に指名を予告する等)
				グループワーク時の配慮 (人数調整やグループ間の距離を取る等)

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
課題・試験		想像力・段取り		課題内容・指示の具体化 (スモールステップで進める等)
		タイムスケジュール管理		課題提出期限や試験時間を延長
		抽象的な指示・内容の理解		

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
情報の取得		注意・集中		授業の録音・録画を許可
		書字		板書の写真撮影を許可
		感覚過敏		授業内容や重要情報の視覚的提示
				座席の確保
				途中入退室の許可

分類	○	修学上・生活上の困難	○	必要な配慮
生活場面		疲れやすい		クールダウンのための休養室の確保 (災害時含む)
		感覚過敏		

上記以外に困難さや必要な配慮があれば以下に具体的に記載してください。

分類	修学・生活上の困難	必要な配慮
その他		